

2020年2月20日朝刊

左の新聞記事を読んで、問いに答えましょう。

①記事の見出しにある「プラ廃止 動き拡大」はどのような問題を解決しようとしているものか。「～の問題」という書き方で答えなさい。

の問題

②この新聞記事から1年以上たった現在、記事に書かれている以外にどのような動きが出てきているか、20字以上30字以内で書きなさい。なお、解答は横書きにすること。


←20字

←30字

プラスチックごみによる海洋汚染の問題を受け、外食産業や小売業界、飲料・食品メーカーがプラ製品の使用を控える方針を相次いで打ち出している。ストローやレジ袋だけでなくペットボトルや包材の削減も目指そうと、意欲的な動きが広がっているが「日本の動きは極めて鈍い」との厳しい指摘もあり、さらに踏み込んだ対応が必要だとの声も出ている。

## プラ廃止 動き拡大



ガスト全店で希望者に提供される、トウモロコシが原料のストロー

響が少ないトウモロコシ原料のストローを提供する。ロイヤルホールディングスやスタールバックスコヒージャパンも直営店舗などで2020年までに提供をやる。モスフ

トウモロコシ原料のストロー

レジ袋は紙

ードサービスはプラ製のストローを削減し、スプーンやフォークも紙製に変更する。この1月から直営146店でプラ製ストローをなくした大戸屋ホールディングスは実施店舗の拡大や弁当容器、レジ袋の素材変更も検討中だ。

環境省が有料化を目指すレジ袋では、衣料品大手のH&Mジャパンが昨年12月、プラ製から紙袋への切り替えを開始。ローソンは独自のエコバッグ導入を検討している。飲料・食品メーカーでは日本コカ・コーラやサントリー食品インターナショナルなどのペットボトルの原材料に再生素材を使うといった動きが進む。味の素グループは包材などに使われるプラスチックの廃棄をゼロにする目標を掲げた。

③ 問い①の問題を解決するために、あなた自身ができることを1つ書きなさい。

年 組 名前